

あわえ

会社概要

1. 株式会社あわえ

- ・「日本の地方を元気にする」をテーマにICTを活用した地域活性化対策に取り組む。
- ・徳島県美波町にて平成25年6月に起業。地域の課題である若者の減少に焦点を当て、若者が働くための仕組みづくりを展開。
- ・主な事業はサテライトオフィスの誘致、就労支援プログラム、行政と連携したイベントの実施、地元ブランドのPR。
- ・徳島県美波町は海・山・川が一つのエリアに集まっており、豊かな自然が凝縮された地域。町の中心に四国八十八箇所霊場第二十三番札所・薬王寺が鎮座し、多くのお遍路さんが訪れている。



あわえの事業の背景

あわえの設立経緯

- ◎サテライトオフィス開設
 - ・2011年にサイファーテック株(あわえの社長が経営する会社)が人材確保のため、徳島県美波町にサテライトオフィス開設。神山町以外でのサテライトオフィス開設第一号。
 - ・仕事もプライベートも両立、充実させる「半X半IT」を推奨(X=各人の趣味など)
 - ・結果、社風に共感する優秀な人材を確保できるようになり、人員増強に繋がった。
- ◎地域住民との交流
 - ・サテライトオフィス開設後、地域住民との交流が盛んになる中、地域の人々から相談を受けようになり、地域の課題を解決すべく、2013年にあわえを設立。

祭りによる気付き

- ◎「初音湯」開設(2014年)
 - ・温泉をリノベーションして、地域交流施設「初音湯」を開設。
 - ・開設の際には、地域住民や都会からの交流者が集まり、阿波踊りの披露など壮大な祭りが行われた。
- ◎祭りで感じた地方の元気
 - ・「地方ではこれほどの元気が集まることができる」と地方の潜在能力を感じ、都会と地方の関係性について検討。



都市と地方の補完

都会の問題点

- ・固定観念(稼がなければならない)
- ・ルーチンワーク(自分のスキルが活かせない)
- ・複雑な人間関係(職場の空気が気まずい)

疲弊

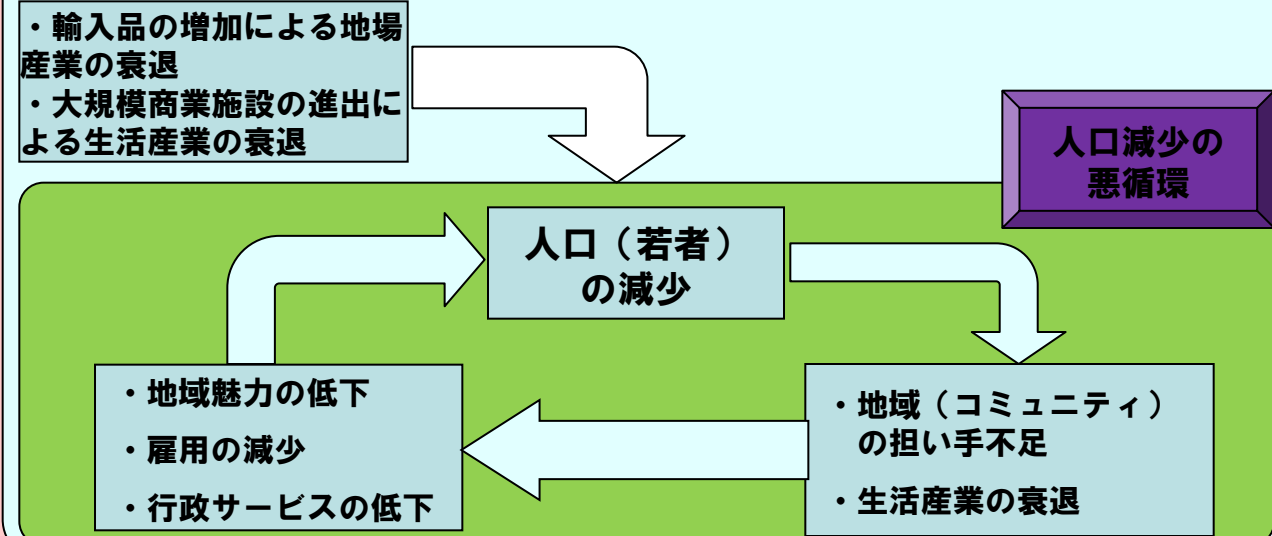
地方による癒し

- ・「半X半IT」に基づく、暮らし・遊び・つとめが混然一体となったワークスタイル
- ・1人で何役もこなすチャレンジ精神
- ・祭りごとなどで育まれる地方住民との交流

都会で疲れた人が地域で元気を得る！
元気になって都会でまた働く！
地方と都会による大きな循環が生まれる！

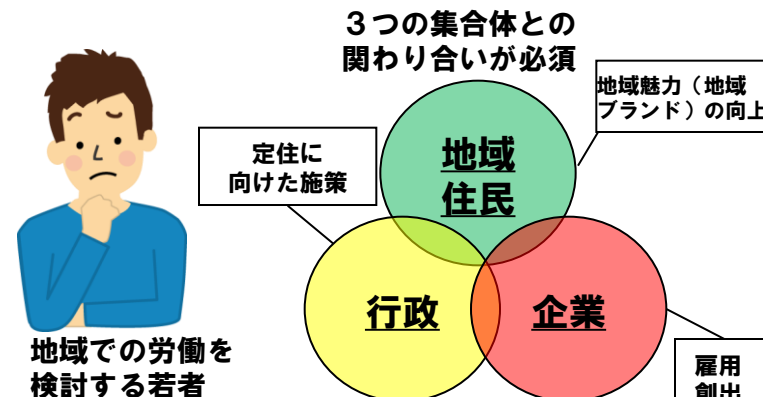
地方には人を元気にする力がある→では、なぜ地方から人は流出しているのか？

背景にある地域の課題(※美波町に限定しない)



課題を解決するために・・・若者が地域で定住するための仕組み作り

若者が地域で定住するために必要な要素



あわえの狙い

必要な要素の充足による若者の定住

地域活性化

事業概要

1. 雇用者の確保・育成

- ・企業誘致・企業促進をさらに加速させるべく、イベント実施などのプロモーション活動を実施。
- ・サテライトオフィス進出を検討している企業に向けて、サテライトオフィス体験施設「戎邸」の提供や現地視察の際にアテンドを実施。
- ・既にサテライトオフィスを進出させている企業の経営者や、企業家同士の交流の場を設ける。

2. 被雇用者の確保・育成

- ・地域に馴染みながら働ける若者を探す企業、地域での職探しを検討するも職能がない若者、両者のニーズを満たすための、一定期間地方で暮らし働きながら学ぶ人材育成事業を運営。
- ・その一つとして地域産品のブランディングやWEBサイトの企画・運営について学ぶ場である「美波クリエイターズスクール」を実施。
- ・また、学生インターンの受け入れや支援も積極的に行い、若い力が地域で活躍する土壌を養成。

3. 地域資源の活用

- ・「歴史リーフォトストックGOEN」では、家々に残された古い写真を集めてデータとして保存し、写真に写る場所の位置情報を、インターネット上の地図サービスと連動。目の前の景色と過去の写真を重ね合わせることが可能であり、地域サービスや観光資源として活用。
- ・古民家や空き施設を改修し、町民同士の交流の場やサテライトオフィスとして利用してもらう「エリアリノベーションプロジェクト」を展開。リノベーションを通じて地域全体をリデザインしてエリア価値向上を図る。

4. 地域広報

- ・あわえの取り組みや美波町の出来事について発信。
- ・地域にとって当たり前になっている部分に光を当てる「よそ者目線」と、深く地域を理解する「地域目線」の両方を意識して、情報発信。

5. 行政などに対するスクール

- ・地方活性化を目指す地方自治体・地域おこし協力隊などを対象に地方創生担当者育成プログラムを実施。
- ・徳島県行政担当者などをはじめ、今後全国にわたって講義を展開していく予定。



事業効果

サテライトオフィス
関連移住者数

32人
(H25~H28.7)

サテライトオフィス
進出企業数

13社
(H25~H28.7)

社会動態

+6人
(H27比)

地域起業数

8件
(H25~H28)

事業の特徴・ポイント

- ・「半X・半IT」といった暮らし・遊び・つとめが混然一体となったワークスタイルを推進し、地方のビジネスの魅力を提唱。
- ・サテライトオフィスや起業家の誘致・若者の定住支援のため、プロモーション活動や受入体制の整備・構築を実施。
- ・地域の課題解決に直結した事業を展開し、地域活性化に取り組む。

産業経済研究員からの一言

徳島県は、CATV世帯普及率が全国1位で、県全域に光ファイバーが普及するICTの先進県である。こうしたインフラの整備が起爆剤となり、サテライトオフィスの誘致で有名な神山町など、市町村単位で大都市圏に対する地域の魅力発信が加速化したと思われる。よそ者・地元両方の視点を持つ吉田代表は、地域の自然、元銭湯・古民家、古い写真、特産品といった多様な資源を大都市圏の若者の目に留まるようアレンジし、ICTを使って彼らの心を揺さぶる。また、仕事においても代表自らが新しい働き方を体現し、幸福感に満たされる様子が、ICTを通じて社会増の呼び水になった。

◎あわえについては、<http://www.awae.co.jp/>